

世界史B 13ローマ(2)

グラックス兄弟の改革と失敗

兄()1=B.C.163~133 B.C.133年護民官に選ばれる。
リキニウス法を復活させ、1000ユゲラ(1ユゲラ=0,27ha)以上の土地を没収し、自作農と重装歩兵の再建のため平民に与えることを民会で決議。

弟()2=B.C.153~121 B.C.122年護民官に選ばれる。
兄と同じく土地再分配、人民への無償穀物援助、ローマ()3の同盟市への拡大などを行おうとする。

→2人ともB.C.133年と121年相次いで閥族派が殺害⇒百年の内乱=「内乱の1世紀」

奴隷反乱と戦争

B.C.136年()4島の奴隷反乱。全島を一時支配する。~132年。

B.C.113年 キンブリー・テウトニー戦争。北方の()5族が北イタリアに侵入。

平民派()6=(B.C.157~86)☆aの軍制改革

→無産市民を職業軍人化。キンブリーを撃退。 閥族派スラ(B.C.138~78)と対立

☆a---ガイウス=マリウス。7度執政官となる。妻はカエサルの叔母。兵士に武器一式と退職金を支給。

B.C.91年「()7戦争」 同盟諸市がローマ()8を要求して反乱を起こす(~88年)

ローマは要求を受け入れる。参政権、財産権、公訴権など。

B.C.73年「()9=(B.C.109ころ~71)☆bの反乱」

└カプアの町の()10養成所から剣奴脱走。

└ヴェスビオス山に立てこもり、貧民20万人も合流。討伐のローマ軍を数度打ち破る。

└B.C.71年、クラッスのローマ軍に敗れ、参加者は()11街道☆cに磔にされる。

☆b---トラキア出身。捕虜または逃亡兵士から剣奴にされたという。最後に属州シチリアへの渡航をめざすが敗北。

☆c---ローマ初の舗装道路。軍用として整備。ローマ(フォロ・ロマーノ)から南端のタレントウムに至る。

[第1回三頭政治] (B.C.60~53) 有力な3者による共同統治

└ポンペイウス(B.C.106~48)---閥族派の首領。イスパニア総督。

└クラッス(B.C.114~53)---シリア総督。 B.C.53年()12☆d遠征で戦死(カルラエの戦い)。

└()13☆e(B.C.100~44)---平民派の首領。ガリア総督。

・B.C.49年ポンペイウスと元老院はカエサルの強大化を恐れガリア総督を解任。

・カエサルは軍団を率いて()14川=ローマ本国とガリア属州の境界=を渡り、ローマに入城。

・ポンペイウスをギリシャで破り、エジプト王()15☆f=位B.C.51~30を支援。

☆d---B.C.248頃建国。ユーフラテス川からインドに至る領土。アケメネス朝とササン朝の間の時期のイラン系の王国。馬も帷子を付けた重騎馬戦に優れ、ローマ軍を圧倒。B.C.36年アントニウスの遠征も退ける。

都[]16はティグリス川中流域。アラム文字表記のペルシャ語を使用。

☆e---名門貴族ユリウス家。総督として8年間ガリア各部族と戦う。「ガリア戦記」 B.C.59年執政官。

☆f---プトレマイオス朝最後の王。ローマとの関係を巡り弟プトレマイオス13世(共同統治B.C.51~47)らと対立。

3,カエサルの独裁

B.C.47年 ・終身の()17 ・世襲の元帥=[]18

・無期限の護民官 には就任。

→ローマ共和制の枠組みを残しながら、実質は帝政。

└徴税請負人の廃止。無産市民の救済。

└元老院議員に()19を加える。600⇒900に。属州民も参加。

└()20暦を制定→エジプトの太陽暦を採用。

→閥族派は反発。「従来の共和制に反する」、として平民派も対立。

B.C.44年 平民派の()21=B.C.85~42らによって暗殺される。

[第2回三頭政治] 「国家再建三人官」 (B.C.43~31)

└()22=(B.C.82~30) カエサルの部下、将軍。エジプトで独自の国を目指す。

└レピドゥス(B.C.90ころ~13) 政治家、将軍。カエサルの副官。

└オクタウィアヌス(B.C.63~A.D.14) カエサルの姪の息子で()23

→B.C.31年()24沖の海戦=イオニア海=でアントニウスとクレオパトラを破る。

B.C.30年2人は自殺し、プトレマイオス朝滅亡→全地中海世界をローマが統一。

4,ローマ元首政(=実質上の帝政)の成立

B.C.27年オクタウィアヌスは元老院から4つの称号、地位を得る

・()25=尊厳なるもの ・()26=元首・第一人者

・インペラートル=元帥 ・()27=前執政官、属州総督 ・「カエサル」=称号

⇒アウグストゥス帝(B.C.27~A.D.14) →穏健策

└ゲルマン、パルティアと講和。

└ローマ()28を縮小。60軍団から28軍団に。(国境の20軍団とローマ近衛軍)

└エジプトなど→皇帝()29とする。

└首都ローマで大土木工事⇒「()30のローマ」と呼ばれる。

→以後「五賢帝」の時代まで平和が続く⇒「()31・ロマーナ」



コロッセオ



カエサル



アウグストゥス



スバルタクスの反乱



フォロ・ロマーノ(ローマ)

- ・軍団 ・養子 ・閥族 ・平民 ・大理石 ・市民権(2) ・直轄州 ・同盟市 ・独裁官 ・剣闘士
- ・パックス ・ゲルマン ・シチリア ・ユリウス ・ガイウス ・カエサル ・マリウス ・アッピア
- ・ルビコン ・パルティア ・アクティウム ・ヘレニズム ・クレオパトラ ・ティベリウス
- ・ブルトゥス ・プロコンスル ・スバルタクス ・アントニウス ・プリンケプス ・アウグストゥス